

よ3-え 大津留

おおつる交流センター便り

よろーえん

No.28

令和元年6月10日
大津留まちづくり
協議会発行
☎080-7989-1497

東部簡易水道見学【中尾地区有志】



大津留全域の上水道をまかなっている、東部簡易水道の取水場（柚木）、浄水場（影戸）の視察に行ってきました。

20年前までは、小挾間川からポンプアップによる採水をしており、泥を沈殿させる為、凝集剤を使用。現在は、雨乞岳の沢水を自然な流れのまま取水している為、凝集剤は使用せず、砂ろ過と塩素消毒のみで、以前に比べ安全でおいしいお水が供給されていることがわかりました。

おおつるマーケット【地域振興部・特産品開発部】

5月26日、第25回おおつるマーケット開催。今回は野菜類の出店が少ないと危惧されましたが、みなさんのご協力により、たくさん野菜が揃いました。当日の朝には、まち協メンバーによりフキの採取も行われ、特に大分市からのお客様に好評でした。地元の資源を活かした、良いアイデアだったと思います。今後地域で採れる素材を有効に活用できればと思います。大津留のみなさまの出店をどしどし募集しておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

来客数も上々で、品物が売り切れるお店も続出。来月も賑わいのあるマーケットにしていきますよ。

〔堀伸太〕



おおつるのひとびと⑬



しばらくお休みしていた企画が戻ってきました。今月のおおつるの人は

曾根崎秀一（影戸）さんです。

大津留で生まれ育ち、高校卒業後は向陽学園の職員を経て、庄内町役場（由布市役所）に約40年勤務。

結婚を機に、阿南地区に移り住んだが、子どもを大津留の豊かな環境で育てたかったので、影戸にUターン。二年前に退職したあとは、影戸の自治委員を2年、現在はまちづくり協議会の会計として、長く地域に貢献。

これからも、交流センターを拠点にした大津留の活性化に携わっていききたい。そして、先代が残してくれた田んぼを荒らさないよう、米作りを続け、軽登山や旅行を楽しみたい。

今後の予定

しゃべり場かじか

●日時 6月18日（火） 9時30分～

おおつるマーケット、田植え体験

●日時 6月26日（日） 9時～13時

おわりに 今月のよろーえ編集を担当しました、地域おこし協力隊の武田優希です。大津留に越えてきて一か月、毎日新しい発見と出会いに恵まれ、皆様に助けられながら、おかげさまで充実した日々をすごしています。大津留の棚田、暮らしぶり、とても美しい景色だなあと感じます。地域愛を持っている方々も、とても多い印象です。その思いを次の世代につないでいけたらいいな。私が住む中尾地区の水路には今、無数の蛍が舞い踊っています。素敵なところ、大津留のここがいいよ！というのがあれば是非教えてくださいね。

5月の来訪者数
679名